

## 特集

## 「楽しい」解剖学を求めて

教員が解剖学を楽しめなければ、

学生が楽しめるわけがない 藤井徹也

教えるために学んだ経験から考える

解剖学のおもしろさ 水澤晴代

医師との協力で解剖学への興味を喚起する 八島妙子

解剖の知識と実際の看護技術関連を考えて

「楽しみ方」を探る 原好恵

解剖学で「人」を知るのはおもしろい——美術解剖学の魅力

阿久津裕彦

## 【連載】

リズムとからだ「うまいいく」と「うまいかない」の謎・2

伊藤亜紗

すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・2

佐藤紀子

看護教育、継往開来！・2 江藤裕之・林千冬

優れた“わざ”をどう伝えるか——

技術の「背後にある意味」を教える・5 阿保順子

「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨地実習における

教育上の調整を考える・5 遠藤和子

学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ・5

木村映里

東西南北！ 学生募集旅日誌・11 高塚由香里

## 編集後記

●教育における「問答」というと、一般的には「教員が問い学生が答える」ものと考えられるでしょうが、仏教の禅における「問答（問対、商量、問酬ともいいます）」は、基本的には修行者が指導者に答えを問う修行を指します。もちろん、修行の進捗を確かめるために指導者から問うこともありますが、従来は学ぶ者がこそ問う者。つまりは、主体はあくまで学ぶ者です。

●「お金払って学校に来ているのだから、学生は教員に『教える。教えないなら金返せ』と迫ってもいいはず。だから、そうせずに教室でみんながぼさっと座っていてくれるなら、私はとても楽なんだ」。これは私が高校時代に習った先生の言葉です。ここにも主体的に学ぶことの重要性が示されています。●アクティブラーニングが謳われるなか、今号の特集をきっかけに「発問」の主体についても考えていただければ幸いです。……大野

●はっとしてもんもん。藤江先生の「発問に関する誤解」のなかで、バツと返事が出る発問は良い発問ではない可能性が高いということを読んだから、発問のもんは思考中のもんもんのもんで、ハツとしてもんもんすることが良い発問ではないが、と言いたい気持ちがもんもんもんもんと湧いていましたが、特に言う機会もなかったのでここに書きました。もんもん。●まったく余談ですが、焼き肉（鳥）の部位であるハツはドイツ語のハルツ（心臓）からきているようです。特集タイトルはハートに響く発問にしても良かったな、と真了前日に思ったのですが、たぶんこのダジャレは伝わらないのでここに書きました。そうそう、もうすぐ新年度ですね。春らしく新連載を3本始めましたので、ぜひお読みくださいませ。……もん番匠

◎編集室ツイッター  
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第58巻 第4号 2017年4月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

## JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.3

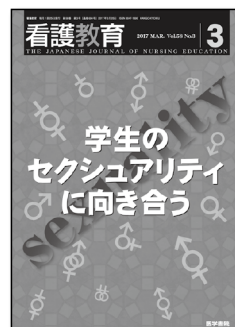
2017 年 3 月  
特集

## 学生のセクシュアリティに向き合う

看護は、あまたの職業のなかでもとりわけ身体接触の多い仕事です。他人の体にさわるとき、たとえそれが仕事であっても、「恥ずかしさ」は消えるわけではありません。ですので、本来であれば、その「恥ずかしさ」をふまえたうえでの基礎教育が求められますが、現実的にはどうでしょうか？患者さんの「恥ずかしさ」には視線が向けられていても、学生自身の「恥ずかしさ」は後回しにされていないでしょうか？「恥ずかしさ」を考慮して、接触がある演習は同性同士で行うようにしている」と聞くことが多いですが、それでは現場に出ていきなり未経験の身体接触をするということになりますし、性的マイノリティの潜在可能性を考えれば、単純な「同性同士」ということ自体が意味をなしません。配慮しているようで、実は学生のセクシュアリティについて考えることをスルーしているとも考えられます。

今回の特集では、身体接触と「恥ずかしさ」という視点を例に、いまだ十分考慮されているとは言えない学生のセクシュアリティに配慮した教育の方策について、特にマイノリティ側からの意見を中心に提案します。セクシュアリティそのものについてですら、まだまだ正面きって論じられることが少ないですが、患者さんのことを考えるその前に、教員は学生のことを考えていただきたいと思います。基礎教育の段階で自らのセクシュアリティに向き合う経験は、必ず臨床現場で役に立つはずなので

- 看護教員はセクシュアリティをどこまで意識しているか …… 齋藤益子
- 教育においてセクシュアリティをどう実感すべきか——身体接触の視点から考える …… 松崎政代
- 現場に出る前にセクシュアリティの視点の確立を …… 平田研人
- 性的マイノリティの存在を意識した看護教育を望む …… 浅沼智也
- 医療体制そのものに性の多様性をもたせよう！——意識改革より制度改革を… 沼崎一郎



Vol.58 No.2

2017 年 2 月  
特集

## キャリアを支援する 赤十字看護専門学校教員ラダー

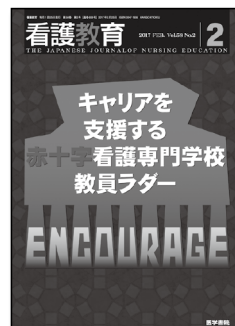
病院などで、看護実践能力や管理能力のラダー、コンピテンシーの明示が広がっている一方で、教員の教育実践能力を評価し、成長段階でとらえようとする教育機関はほとんどありません。確かに、教育能力を正確に計る、ということは実現が難しいですが、参考となるラダーやコンピテンシーがあれば、自身の教育実践能力を客観的にとらえられ、また他者から教育実践能力を評価され、ポジティブなフィードバックを受けることで、キャリアアップにつながるものが期待できます。

日本赤十字社が非常に考えられて構築した「看護教員のキャリア開発ラダー」は、すでに導入から3年がたち、所属する多くの教員が認定を受けており、組織全体の取り組みとして、すべてのレベルでも認定が進んでいます。また、より良いラダーのための見直しも行っています。

今特集では、看護教員ラダーの概要を改めてご紹介するとともに、認定を受けられること、また評価をすることが、ご自身の教員としてのキャリアにどのような影響があったのか、ご体験から語っていただきました。

多くの教育機関で、継続研修の指標に、また教員のキャリア支援の一環として、ラダーの設定が教員たちにどのような影響を与えるか、今特集がご参考になることを願っています。

- 看護教員ラダー導入3年目の成果と今後の課題 …… 小越佐知子
- 認定を受けた立場から 歩みを振り返り、成長につなげる  
レベルⅠ 日々の積み重ねとしてのラダー …… 岩村直美  
レベルⅡ 自分と向き合い、課題を見出していく …… 藤元由起子  
レベルⅢ 「創造」としてのラダー認定 …… 箕口ゆう子  
レベルⅣ 副学校長としての自信を深める …… 柳めぐみ
- 評価をしてきた立場から 仲間たちを認め、自らも学ぶ機会に  
レベルⅠ・Ⅱ 評価者として「評価会」を中心に …… 満間信江  
レベルⅢ 評価者として 成長につなげるポジティブフィードバック …… 高岸壽美  
レベルⅣ 評価者として 質的なリフレクションを導くナラティブ評価 …… 小松智子



【2017 年 1 月号 (Vol.58 No.1)】

教える力を養うための  
継続研修を

【2016 年 10 月号 (Vol.57 No.10)】

「病態関連図」を  
おもしろく！

【2016 年 12 月号 (Vol.57 No.12)】

身体知をリベラルアーツに

【2016 年 9 月号 (Vol.57 No.9)】

さあ、臨床判断モデル

【2016 年 11 月号 (Vol.57 No.11)】

使える「患者役」になろう！

【2016 年 8 月号 (Vol.57 No.8)】

論理的に書こう！

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 2 月号 (Vol. 56, No. 2) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 3 月号 (Vol. 56, No. 3) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。